

# 白バラよこはま

No.55

令和8年2月発行



横浜市明るい選挙推進協議会

横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045-671-3337

FAX 045-681-6479

【鶴見区】選挙時啓発



【青葉区】主催者教育アドバイザー研修会



【神奈川区】小学校での出前授業



【港北区】メッセイシカードコンテスト中学生の部金賞作品



【中区】中区民まつりハローよこはま2024



【戸塚区】下郷小学校出前授業



【緑区】緑区民まつりでの様子



【南区】みなみ桜まつり



# 明るい選挙推進協議会に期待される役割

明るい選挙推進協議会は、

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治・選挙への関心を持ち、政党や候補者を見る目を養うこと

という3つの明るい選挙推進運動の目標を達成するため、これまで様々な活動を行ってきました。それらの活動に加え、今後、時代に即した新しい役割として、

- ①選挙事務への積極的な従事
- ②地域における投票制度の積極的な広報を担っていくことが期待されます。

## 明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていくうえで注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

**Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。**

**A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。**

**Q：某候補者は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。**

**A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。**



### 目次

明推協に期待される役割、推進委員・推進員の心得	2
各区令和6年度の事業、	
令和7年参院選・市長選での啓発事業	3～20
横浜市令和6年度の取組み①	
横浜市明るい選挙推進協議会事業	21
横浜市令和6年度の取組み②	
横浜市選挙管理委員会常時啓発事業	22
選挙や政治に関する書籍のご紹介	23
令和7年参議院選挙・横浜市長選挙啓発実績	24・25
寄附禁止、推進委員・推進員さんの声	26
各選挙における投票率の推移	27

## 鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目指し、各種啓発事業を実施しています。また、若年層に向けた、選挙・政治に対する意識向上が求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発にも力を入れています。

令和6年度は、三ツ池公園フェスティバルをはじめ、各種イベントで投票参加の呼びかけや模擬投票を行うとともに、小中学生を対象とした「標語コンクール」や、区内小中学校にて出前授業を実施し、将来の有権者への啓発活動を行いました。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。



▲ 区明推研修会



▲ 出前授業



▲ 臨海フェスティバル

### ● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年 4月	推進委員総会	令和5年度の事業・決算報告及び、令和6年度の事業計画を審議。	推進委員：7名
5月	三ツ池公園フェスティバル	投票参加を呼びかけながら啓発物品を配布。	参加者：約200名
10月	つるみ臨海フェスティバル	ブースの出展及び選挙啓発パネルの展示	参加者：約200名
10月	鶴見大学紫雲祭	紫雲祭において、紫雲祭実行委員会と連携して、模擬投票(ペットコンテスト)を実施。	
11月～ 令和7年 3月	出前授業	区内小中学校にて、選挙についての講演と模擬投票(学校改善政策選挙、給食選挙、次期ジャージの色選挙)を実施。	実施校：3校
11月～ 令和7年 3月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に冬休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、参加者全員にトートバッグ、自身の標語を入れたメッセージカードを配付。 最優秀賞 「その一歩、その一票 あなたが作る鶴見の未来」	応募総数：1,264点
令和7年 1月	明るい選挙推進研修会	推進委員及び推進員を対象に、主権者教育アドバイザーによる講演及び意見交換会を実施。	参加者：21名

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙関連情報を中心に掲載、発行。	発行回数：3回
	投票器材の貸出	区内の中学校・特別支援学校・大学に投票器材貸出しを実施。	貸出数：7校

### ● 参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発	区内商業施設利用者に対して、啓発物品の配布の実施。	日時：令和7年7月8日(火) 実施場所：LICOPA 鶴見店 参加人数：13名
啓発物品の配架	各地区自治会館等及び区役所利用者に対する、啓発物品の配架。	配架場所 ①地区：10地区 配架数：5,500個 ②区役所各課窓口：5か所 配架数：2,500個
広報物を用いた啓発	タウンニュース利用者に対して、広告掲載の実施。	掲載日： 令和7年7月10日(木)
広告宣伝カーを用いた啓発	鶴見区居住者に対して、一人乗り電気自動車による広告宣伝カーを用いた啓発の実施。	巡回期間： 令和7年7月25日～8月3日 場所：鶴見区内

## 神奈川県

神奈川県明るい選挙推進協議会は、神奈川県選挙管理委員会と連携・協力し、明るい選挙の推進、投票率の向上に向けて、様々な啓発活動を行いました。

若年層への啓発では、区内小学校及び中学校にて出前授業を行いました。参加した児童・生徒からは大変好評で、選挙に触れる良いきっかけとなったようです。

さらに、区民まつりといったイベントへの出店、啓発活動の報告を取り上げたイコット通信を2回発行したほか、ボールペン、クレヨン等の啓発グッズを作製しました。

今後も、より充実した啓発活動を実施してまいります。



▲ かながわ区民まつり



▲ 啓発物品



▲ 神奈川県明るい選挙推進研修会

### ● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年10月	神奈川県区民まつりへの参加	啓発ブースを出店し、投票の方法を記載したウェットティッシュと衆院選の案内チラシの配布を実施。	配布数：500個
令和6年10月	横浜FCイベントでの啓発物品配布	ブースにて啓発物品の配布を実施。	
令和6年12月	市立浦島丘中学校での出前授業	選挙の仕組みを説明し、模擬投票を実施。	参加人数：210人
令和7年1月	明るい選挙推進研修会	推進委員・推進員を対象に主権者教育についての講演を実施。	参加人数：9人
年2回(令和6年12月、令和7年3月)	イコット通信の発行	啓発活動を推進委員・推進員向けに幅広くお知らせするため、12月と3月に「神奈川県イコット通信」を発行。	
通年	区内小学校での出前授業	区内小学校の児童を対象に、選挙の仕組みを説明し、学校生活に関するテーマで模擬投票を実施。	実施小学校：13校 参加人数：974人
	乳幼児健診向け啓発物品の作製・配布	乳幼児の親世代に向けて選挙啓発に関するデザインのウェットティッシュを作製し、配布。	作製数：3,500個
	啓発物品の作製・配布	啓発物品（ボールペン、クレヨン）を作製し、出前授業で配布。	作製数：ボールペン1,000個 クレヨン660個

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材の貸出し	区内中学校・高等学校を対象に、投票箱、記載台等の器材貸出しを実施。	対象校数：中学校6校 高等学校2校 特別支援学校1校

### ● 参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
広報よこはま7月号への掲載	広報よこはま区版7月号に、投票日のご案内を掲載。	
区内保育施設等に啓発物品を配布	神奈川県内の希望のあった保育所等施設、キッズクラブ及び地区センター等に啓発物品（ファストエイド）を配布。	約3,000個
東神奈川駅への横断幕の掲出	東神奈川駅改札前に選挙啓発用横断幕を設置。	
啓発ステッカー付はがきの送付	過去の出前授業で児童が未来の自分に向けて書いた手紙に、選挙の周知ステッカーを貼付して各宛先へ送付。	送付数：750通
区公式Xでの啓発	投票日や期日前投票など選挙に関する情報を投稿。	

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と投票率向上のため各種啓発事業を実施しています。

具体的な取り組みとして、11月に開催された西区民まつりでは、野毛山動物園と連携して動物選挙を行い、御家族連れを中心に、幅広い年齢層の方々に模擬投票を体験していただきました。

その他にも、12月には、ハマのウォーキングフェスティバルでネックストラップの配布、1月には、小学校へ出前授業を実施、3月には、みなとみらい21 さくらフェスタ2025でイコット Jr. の出演などを行いました。

今後も推進委員・推進員の皆様と連携し、投票参加につながる効果的な啓発活動に取り組みます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年6月	定例会	推進委員嘱、令和5年度事業実績及び決算報告、令和6年度予算審議	参加人数：14人
11月	西区民まつり	野毛山動物園の動物選挙を行い、将来の有権者を含めた区民に対して、模擬投票を実施	投票総数：641票
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者が使用するネックストラップに啓発キャッチフレーズを印字して提供	参加人数：1,270人
令和7年1月	出前授業	区内小学校にて、選挙についての講義と模擬投票	参加者：約100人
2月	明るい選挙推進研修会	選挙に関する意識を高めるために横浜地方裁判所を見学	参加人数：24人
3月	みなとみらい21 さくらフェスタ2025	イコット Jr. がステージパフォーマンス及びパレードに参加	来場者数：3,228人
通年	学校での生徒会選挙等の実践啓発	記載台や投票箱等の貸出し	貸出数：7校、1社
	明推協だより	推進委員・推進員向け機関紙の発行	
	啓発物品の作製	啓発物品（スマホスタンド）	作成数：1,500個

▼ 出前授業



▲ 西区民まつり



▲ 明るい選挙推進研修会

●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発物品の作製	啓発物品（啓発台紙入り冷え冷えタオル）を各町内会イベント等で配布と投票呼びかけ	配布個数：1,000個
	ファン付きベストを作製し、屋外での町内会イベントに貸出し	貸出数：15着

中 区

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

春から秋にかけて「tvk かながわ MIRAI ストリート」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模イベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れていただきました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」では、941 作品という多数の応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、入賞者を対象とした表彰式を行いました。

この他にも投票器材の貸出しや出前授業の実施など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年 5月	tvk かながわ MIRAI ストリート	横浜公園・日本大通りで開催された「tvk かながわ MIRAI ストリート」で模擬投票を実施	参加人数： 639 人
8月	なかくっこ自由 研究大作戦	区の事業「なかくっこ自由研究大作戦 2024」に参加し、模擬投票を実施	参加人数： 36 人
11月	中区民祭り (ハローよこはま)	象の鼻パークで開催された中区民祭り「ハローよこはま 2024」に参加	参加人数： 1,256 人
	出前授業	区内の中学校と協力し、若年層向けの選挙啓発(出前授業)を実施(11月29日 港中学校)	参加人数： 16 人
	選挙器材の貸出し	区内の小中学校で、模擬選挙や生徒会選挙などの用途で貸出し	貸出し数 区内小中学校： 3 件 その他： 5 団体 計 8 件
令和7年 1月	中区明るい選 挙推進作文コン クール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施	応募件数 941 作品 入賞者 18 名
通年	明推協通信 「イコットニュー ス」の発行	推進員等への情報提供と、選挙啓発意識の向上を目的とした機関紙の発行	発行回数： 年 3 回 (6月、12月、3月)

▼ tvk かながわ MIRAI ストリート 2024



▲ 港中学校出前授業 2024



▲ 作文コンクール表彰式 2024

●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発 「ザ・イコット」	啓発用パネルや啓発用ジャケットを作製し、横浜公園にて啓発用ポケットティッシュを配布	参加人数：1,250 人

## 南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

8月には、「明るい選挙映画会」を実施し、若年層（主に小さな子どもを持つ親等）への選挙啓発を行いました。

3月には、「みなみ桜まつり」において、選挙ブースを出展し、啓発パネルの展示や選挙器材を使用したマスコットキャラクター投票、ボール投げゲームを実施し、当協議会の周知及び投票参加を呼びかけました。

その他にも、年間を通じて、小学校への出前授業や、市内中高校への選挙器材の貸出し等を行いました。



▲ 明るい選挙映画会



▲ 推進員研修会



▲ 出前授業

### ● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年 8月	明るい選挙映画会	南公会堂にて若年層（主に小さな子どもを持つ親等）への啓発を目的として、選挙啓発アニメとアニメ映画「リメンバー・ミー」を上映。 また、記載台や投票箱を使ったアンケートの実施や、啓発物品を配布。	参加人数： 約100人
令和7年 2月	推進員研修会	「主権者教育」における明るい選挙推進協議会に求められる役割について講演会を開催。 《テーマ》 選挙啓発の視点で主権者教育を考えるーこれからの明推協に求められる役割ー 《講師》 総務省 主権者教育アドバイザー 白鷗大学 法学部 教授 市島 宗典 先生	参加人数： 約50人
2月	出前授業	区内の2校で、選挙のしくみについて説明し、デザートメニュー、過ごしやすい環境づくり、昼食メニューをテーマに、投票から開票までを経験する模擬投票を実施。	参加人数： 約100人
3月	区内高校への啓発活動	低投票率の続く若年層向け啓発の一環として、「未来をつくる有権者ガイド」と題した啓発パンフレットを作製し、区内の高校4校にご協力をいただき、高校3年生に配布。	配布数： 1,200部
3月	みなみ桜まつり	「みなみ桜まつり」において、記載台や投票箱を使用したマスコットキャラ	参加人数： 約1,200人

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関紙にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行し、ホームページにも掲載。	
	啓発物品作製	啓発物品として、ライト付きボールペンを作製。	
	選挙器材貸出し	未来の有権者の選挙への関心を高めるために、生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施。	貸出し校数：11校
		クターの人気投票や、ボール投げゲームを実施。顔出しパネルを設置した他、参加者には啓発物品を配布。また、大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲出。	

### ● 参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発	弘明寺商店街と横浜橋商店街で市長選街頭啓発を各1回実施。	参加延べ人数 10名
啓発物品の配布	区役所来庁者、乳幼児健診受診者の保護者等に対し、区役所（窓口、1階ホール）、乳幼児健診会場にて啓発物品の配布を実施。	
デコレンタを用いた区内巡回啓発	7月25日～8月3日に、デコレンタを用いた区内巡回啓発を実施。	

## 港 南 区

港南区明るい選挙推進協議会では、特に若年層への啓発に力を入れています。

令和6年度は「若者会議」「高校文化祭出展」「こうなん子どもゆめワールド出展」「出前授業」「選挙物品の貸出し」等の活動を行いました。

若者会議では区内高校の生徒会執行部から16名が参加し、若年層の投票率向上策について議論・検討する会議を3回実施、若者らしい柔軟な発想での提案が多くありました。また、高校文化祭では、次年度出展時の啓発物品を決める選挙を実施、自身の投票した結果が自分たちに返ってくる体験を通じて選挙・投票の大切さを学んでいただき好評でした。

今後も、推進委員・推進員の皆さまとともに、明るい選挙の推進に努めていきます。

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年5月	港南区明るい選挙推進協議会委員会	令和5年度の事業報告および令和6年度の事業計画等の審議。	参加人数：20人
6月	明るい選挙推進大会・研修会	令和5年度の事業報告および令和6年度の事業計画報告。 慶応義塾大学 SFC 研究所 所長 西野偉彦氏による講演（テーマ：地域における投票率向上について）	参加人数：29人
9・10月	高校文化祭での選挙啓発ブース出展	区内4校に模擬投票体験や選挙啓発ブースを出展し、作製したメモ帳およびボールペンの配布・配架。	参加人数：のべ600人以上
11月	こうなん子どもゆめワールドでの選挙啓発ブース出展	子ども向け啓発パネルの掲示。実際の投票箱を用いた選挙クイズ。	参加人数：のべ550人以上
11月～2月	出前授業（小学校模擬投票）	区内小学校にて選挙に関する授業および給食メニューやデザートを決める模擬投票。実際の選挙物品を使用。	実施校数：2校 対象児童：114人
12月～2月	若者会議の開催	区内高校の生徒会執行部から16名が参加し、現役高校生が選挙啓発について議論・検討し、自ら発案。	参加校数：4校
年3回	明推協だよりの発行	推進委員、推進員および選挙管理委員会に向けた活動報告。令和6年度は、6・10・2月発行。	対象人数：48名（選管委員含む）
通年	啓発物品を作製・配布	啓発活動の際に事務局が配布する付箋を作製。	
	選挙機材の貸出し	区内学校の生徒会選挙等のための、投票器材の貸出し。	実績：8校

▼ 出前授業（小学校での模擬投票）



▲ 高校文化祭での選挙啓発ブース出展



▲ 選挙時の物品配布による啓発事業

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
地域メディアへの掲載	7月17日（木）タウンニュース（港南・栄区版）発行号。	実施対象：区内居住者全般
啓発物品の作製・配布事業	クールネックタオル700個及びハンディファン500個を作製し、区内主要駅（港南台駅、上大岡駅、上永谷駅周辺）にて7月17日（木）及び7月29日（火）に街頭啓発を実施。あわせて、区内13施設にて配架。区内お祭り（8か所）及び区役所内各課にてポケットティッシュ配架。公用車へのマグネット掲出。	
デジタルサイネージによる啓発画像掲出	区内6か所の行政情報スポットにて7月29日（水）～8月3日（日）の間実施。	

## 保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、将来の有権者となる若年層への啓発と、地域による選挙啓発活動の支援を中心に活動しました。

若者向けの活動では、「ほどがやバンドバトル 2024」を開催しました。本物の選挙器材を使用した、投票での優勝チーム決定や、選挙に関するクイズを出題するコーナーなど、選挙啓発を意識した企画を行いました。

また、地域の啓発活動への支援を目的として、ポケットティッシュやクリアケース、シールを作製しました。区民まつりで配布したほか、地域のイベント等でも活用いただいております。



▲ほどがやバンドバトル 2024



▲ほどがや花フェスタ 2024



▲ほどがや区民まつり 2024

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年5月	定例会	(1) 令和5年度事業報告・収支決算報告及び監査報告 (2) 令和6年度事業計画案及び収支予算案	参加人数：17人
5月	ほどがや花フェスタ 2024 ブース出店	計数機を使用したミニゲーム等を実施。	
8月	第一回企画運営部会	(1) 地域啓発用物品の作製について (2) 令和6年度ほどがや区民まつりへの出店について	参加人数：8人
9月	ほどがや区民まつり 2024 ブース出店	保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会とコラボレーションし、区のマスコットキャラクターのデザインを決める選挙を実施。	
11月	ほどがやバンドバトル 2024	青少年指導員協議会と共催で、高校生によるバンド演奏会を開催。参加した高校生バンドによる選挙啓発や選挙クイズなどを実施。	出演バンド数：12組 学生スタッフ：約100名(出演者を含む)
12月	出前授業	区内の小学6年生を対象に、各校が設定したテーマによる模擬選挙を実施。	実施校数：2校 児童数：約100名

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和7年3月	第二回企画運営部会	(1) 地域啓発用物品の作製について(報告) (2) 令和6年度明るい選挙推進協議会事業の活動について (3) 令和7年度明るい選挙推進協議会事業計画(案)について	参加人数：8人
年3回	「明推協だより」の発行	推進委員・推進員向けの機関紙を発行。	6月・12月・3月
通年	選挙器材貸出し	区内の学校に生徒会選挙等での使用を目的に、投票箱等の選挙器材の貸出しを実施。	貸出校数：8校

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	区内の商業施設にて、選挙への投票を呼びかけながら啓発物品(ポケットティッシュ、足用リラククスシート)を配布。	参加人数：9人
18～20歳向け選挙啓発グリーティングカード送付	有権者となって初めての横浜市長選挙を経験する18～20歳に対して、選挙への投票を促すグリーティングカードを送付。	対象者数：約5,300名

## 旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発活動を実施しています。

令和6年度においては、小学6年生を対象とした出前授業を区内2校で実施し、題材を給食のデザートなどより身近なものとして、選挙に対する認知向上に努めました。また、新有権者となる高校3年生を対象とした主権者教育事業も併せて開催し、実際の投票器材を使用した模擬投票を実施し、投票参加を呼びかけました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙に一人でも多くの方に関心を持っていただけるような啓発活動を行ってまいります。



▲ 出前授業



▲ 高校生向け啓発イベント



▲ 街頭啓発「ザ・イコット」

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年 5月	旭区明るい選挙推進協議会 定例会議	推進委員による定例会議を実施。 【主な議題】 1 役員選出 2 規約の一部改正 3 令和5年度事業報告及び決算報告 4 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)【開催日】令和6年5月31日 【場所】旭区役所本館3号会議室	参加人数： 推進委員 8人
令和6年 7月	高校生向け選挙啓発イベント①	新有権者である高校3年生を対象に、選挙制度に関する講義、また、架空の市の市長選挙を題材に模擬選挙を実施。 【開催日・実施校】 7月20日 横浜富士見丘学園高等学校	参加人数： 3年生 99名
令和7年 1月	出前授業	選挙に対する理解・関心を深めることを目的として、区内の小学6年生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬選挙を実施。 【開催日・実施校】 1月23日 今宿南小学校 1月27日 今宿小学校	参加人数： 6年生 56名 6年生 70名
	新有権者向け啓発物品の配付	区内全7校の高校3年生に新有権者向けパンフレットとともに、オリジナルクリアホルダーを配付。	配付数： 1,500枚
令和7年 2月	高校生向け選挙啓発イベント②	新有権者である高校3年生を対象に、選挙制度に関する講義、また、架空の市の市長選挙を題材に模擬選挙を実施。	参加人数： 3年生 142名

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材・物品の貸出し	【開催日・実施校】 2月19日 星槎高等学校 区内の高等学校・中学校の生徒会選挙時に投票箱・記載台等の選挙器材や腕章・たすき等の選挙運動用品の貸出しを実施。	貸出学校数： 14校
通年	イコット通信の発行	推進委員・推進員への情報提供や推進員相互の連帯意識の向上を図るため機関紙「あさひイコット通信」を発行。	【発行回数】 3回

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	夏の選挙に向けて街頭にて啓発物品を配布し、選挙に対する呼びかけを実施。 【実施場所】 相鉄線 二俣川駅	参加人数：推進員9名 配布数：約500個
地域誌への記事掲出	地域誌「タウンニュース」に夏の選挙に関する特集記事を掲出。	発行日：7月3日 発行部数：58,300部
Xでの選挙啓発	期日前投票所の混雑状況や選挙のお知らせを発信。	7月8日～8月3日 X：11回
広報よこはまへの記事掲出	広報よこはま(旭区版)へ夏の選挙に関する特集記事を掲出。	発行日：7月1日

## 磯子区

8月に「選挙に行こう！こども映画会」を開催し、マスコットキャラクターを選ぶ投票体験を実施しました。参加者には、令和5年度の映画会の投票体験で当選したデザインを使用したノック式半永久鉛筆及びメモ帳を配布しました。また、令和6年度からは、投票を行うことの大切さを伝えるために、上映前に選挙ミニ講座を開催しました。

9月に開催された磯子まつりでは、選挙に関するクイズの出題を行い、約1,800人の方々にご参加いただきました。啓発物品として、選挙を身近に感じてもらえるよう、日常的に使用できる万年カレンダー及びプチエイド(応急措置セット)を作製しました。

今後も推進委員及び推進員の皆さんと共に、選挙啓発活動を行っていきます。



▲ 市長選啓発ポスター



▲ 選挙に行こうこども映画会フォトスポット



▲ 万年カレンダー

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
6月	磯子区明るい選挙推進協議会定例会議	令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の事業計画・予算案の報告、役員を選任。	推進委員：17人
8月	選挙に行こう！こども映画会	マスコットキャラクターを選ぶ投票体験と選挙ミニ講座の実施後に、映画「パティントン」を上映。	参加人数：約180人
	選挙パネル展	映画会の開催に合わせてこども向けの選挙啓発パネル展を開催。	
9月	磯子まつり	区民まつりに防災担当と合同でブースを出展。選挙と防災に関するパネル展示とクイズの出題を行い、参加者に啓発物品を配布。	参加人数：約1,800人
11月	磯子区明るい選挙推進研修会	議会局職員による市会議事堂内の見学と、翌年度の協議会活動内容に関する意見交換会を2部構成で開催。	推進委員・推進員：22人
12月～令和7年1月	出前授業	区内の小学校で、選挙に関する講義と、給食のメニューや学年レクの種目を決める模擬選挙を実施。 【実施校】 ・浜小学校 ・汐見台小学校 ・洋光台第四小学校 ・さわの里小学校 ・洋光台第一小学校	参加人数：計471人
3月	磯子区明るい選挙推進協議会委員協議会	推進委員が集まり、翌年度の事業計画案の立案に向けて意見交換を実施。	推進委員：14人
	磯子区明るい選挙推進協議会定例会議	令和6年度の事業・決算報告、及び令和7年度の事業計画・予算案についての審議。	書面開催

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	生徒会支援事業	区内の中学校・高等学校に選挙器材の貸出し。	貸出校数：中学校7校 高等学校1校
通年	明推協だより発行	推進委員・推進員を対象に、事業計画や活動報告、選挙結果等を掲載した機関紙を発行。	

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区庁舎における啓発	啓発ポスターの掲示、啓発懸垂幕の設置及び啓発用ポケットティッシュの配布。	
街頭啓発「ザ・イコット」	区内の商業施設・駅周辺で、啓発用のポケットティッシュと作製した啓発物品(冷感首巻きタオル)を配布。 実施場所：プララ杉田パティオ広場、相鉄ローゼン磯子店 配布個数：約1,000個	参加人数：計18人 (推進委員・推進員、選挙管理委員会委員、事務局)
SNSによる情報発信	区公式Xアカウントによる期日前投票の告知。	
広報紙への記事掲載	広報よこはまとタウンニュースに、選挙期日等のお知らせを掲載。	
区独自ポスターの作製と掲示	独自の啓発ポスターを作製し、区内の駅に掲示。 掲示場所： 【京浜東北・根岸線】根岸駅、磯子駅、新杉田駅、洋光台駅 【京急線】屏風浦駅、杉田駅	

# 金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会は「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をテーマに、啓発活動を展開しています。

令和6年度は高校文化祭において高校生による選挙キャラクター人気投票を実施したほか、中学生向けに落語家による講演会や親子向け映画観賞会を開催しました。

楽しく学べる工夫を取り入れ、選挙の重要性を身近に感じる機会を提供することで、若者が政治や選挙に主体的に関わるきっかけづくりを目指しています。

▼ 落語家による講演会



▲ 研修会



▲ 映画会

## ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年9月	横浜市立金沢高等学校文化祭「金高祭」へのブース出展	高校生の選挙に対する意識向上を図るため、横浜市立金沢高等文化祭「金高祭」にブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票、選挙啓発パネルの掲示を実施。来場者には選挙啓発物品を配布。	参加人数約800人
令和7年2月	落語家による講演会	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催。 会場：横浜市立並木中学校 演題：「そうだ、投票に行こう！～笑い溢れる、明るい未来～」 講師：桂 三四郎（落語家）	参加人数約60人
	金沢区明るい選挙推進委員・推進員研修会	選挙啓発に対する意識の向上を目的に衆議院憲政記念館の見学会を実施。	参加人数6人
3月	横浜市金沢区明るい選挙親子映画鑑賞会	子供に影響されると言われる親の政治参加意欲の向上を目的に、親子連れを対象にした映画観賞会を開催し、選挙啓発DVDの上映や選挙啓発パネルの展示、模擬投票等を実施。	参加人数約200人
通年	明推協にゆうすの発行	推進委員及び推進員向けに事業に関する情報提供や意識向上を目的に機関紙を発行（年3回：7月、1月、3月）。	
	選挙出前授業	区内小・中・高等学校を対象に選挙の重要性について理解を深めることを目的に出前授業を実施。	実施実績高等学校：2校

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出し	区内小・中・高等学校を対象に、生徒の選挙への関心を高めることを目的に、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に選挙器材を貸出し。	貸出実績 中学校：9校 高等学校：1校 特別支援学校：1校

## ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区独自啓発ポスターの作製と掲示	区独自で啓発ポスターを作製し、区内の商店街や商業施設、区民利用施設及び駅へと掲示。	設置箇所 50箇所（駅・区民利用施設・区役所等）
広報紙への記事掲載	広報よこはまタウンニュースに、選挙期日等のお知らせを掲載。	
区庁舎における啓発	啓発ポスターの掲示、啓発懸垂幕の設置及び啓発用ポケットティッシュの配布。	
街頭啓発「ザ・イコット」	区内の商業施設で啓発用に作製した啓発物品（瞬間冷却バック・冷感タオル）の配布。	参加人数 15名

## 港 北 区

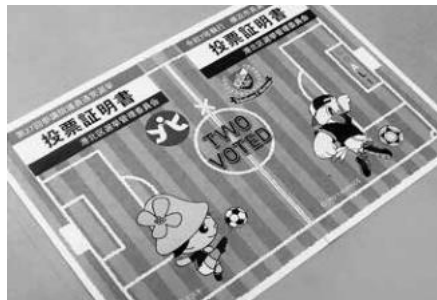
港北区では、選挙権を持つ18歳までの主権者教育が将来の投票行動に結びつきやすいことから、小中高生を対象とした参加・体験型の事業に力を入れています。令和5年度に引き続き実施したメッセージカードコンテストは、18歳の未来の自分に投票の大切さを伝える設定で、2年目の令和6年度はイラストに加えて作文の部を新設しました。初年度の応募数423点を上回る、総数668点の応募をいただきました。

一票の大切さを食材のカレーに喩えたユニークな中学生の作品は、市長選挙の啓発事業に活用され、実際に投票を呼び掛けながらカレールーを配布しました。

今後も子どもから大人まで選挙に親しみを持てる企画を展開してまいります。



▲ ふるさと港北ふれあいまつり



▲ オリジナル投票証明書



▲ フォトブースパネル

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年5月	定例会議	令和5年度の明推協の事業報告及び6年度の事業計画等を審議。	推進委員：16人
7月	メッセージカードコンテスト	区内在住・在学の小中高生を対象に、選挙権を持つ18歳になった自分に宛てて、選挙や社会に対する思いや願いを伝えるポストカードを募集。	参加校数：8校 応募総数：668点
11月	推進研修会	明るい選挙推進運動への意識の向上及び政治・選挙に関する自身の知見を深めることを目的に、推進委員及び推進員に対し、研修を実施。	参加人数：30人
11月	ふるさと港北ふれあいまつり	横浜アリーナで開催されたふるさと港北ふれあいまつりに実際の投票箱や記載台を使って投票を体験するキャラクター選挙のブースを出展。	内容：ご当地めいすいくん 決定選挙 参加者数：1,000人
通年	出前授業	若年層へ主権者としての理解を深めるための講義、グループワークなどの出前授業、模擬横浜市長選挙を実施。	実施校：2校 参加人数：延べ292人
通年	選挙器材の貸出し	実際の選挙の雰囲気を感じてもらうことにより、若い世代に選挙への関心を高めるため、区内小中高校の児童・生徒会選挙に際し、選挙器材を貸出し。	貸出実績：13団体
通年	イコット通信の発行	推進委員・推進員向けに、活動内容を周知するため機関紙を発行。区ホームページにも掲載、周知。	発行回数：2回 (8月・12月)

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
広報よこはま7月号への掲載	広報よこはま区版7月号に、投票日のご案内・期日前投票所の変更等を掲載。	
横断幕の掲出	港北区内の歩道橋や駅等に選挙啓発用横断幕を設置。	設置場所：新横浜駅 新羽駅 トレッサ横浜 新綱島スクエア
フォトブースパネルの作製・展示	港北区ならではのキャラクターと選挙期日の書かれたパネルを展示し、一緒に写真を撮れるブースを設置。	設置場所：イオン新吉田店 トレッサ横浜
夏の選挙カレールー	投票用紙がカレーのルーに変わり、具材の入った鍋に投入される様子を描いたメッセージカードと本物のカレールー、啓発ティッシュをセットにして模擬投票に参加した来店者に配布。	配布数：各500個 実施場所：イオン新吉田店 7月26日 トレッサ横浜 7月27日
オリジナル投票証明書の作製	区独自の投票証明書を作製し、参議院議員通常選挙及び市長選挙2つの投票証明書を合わせると一枚の絵が完成するデザインで作製、両選挙の投票参加を促進。	配布：期日前投票所及び当日投票所にて先着20,000枚配布
街頭啓発「ザ・イコット」	駅頭や商業施設で啓発用ポケットティッシュを配布し、投票日の周知と投票の呼びかけ。	主な実施場所：綱島駅 新綱島駅 新横浜駅 菊名駅 イオン新吉田店 トレッサ横浜 参加人数：60人

## 緑 区

緑区明るい選挙推進協議会は、区民に政治や選挙への関心を高めてもらうことを主な目的として活動しています。

令和6年度は新たな取り組みとして、若年層が政治や選挙について意見を交わす「明るい選挙ユースプロジェクト」を開催しました。区内8中学校から13名が参加し、投票率向上策などをテーマに、大学生オブザーバーとともに活発な議論を展開しました。

田奈中学校では、3年生を対象に主権者教育アドバイザーを講師に招き、主権者教育を実施しました。

地域のイベントでは、選挙啓発ブースを出展し選挙器材の展示等を実施しました。

今後も、推進委員・推進員の皆様と連携して効果的な啓発活動に取り組んでまいります。

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年 10月20日	緑区民まつり出展	区民まつりに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもと選挙器材を用いて、マスコットキャラクター選挙を実施。	参加人数: 658人
12月7日	ミドリマルシェ出展	ミドリマルシェに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもと選挙器材を用いて、冬野菜選挙を実施。	参加人数: 339人
令和7年 2月26日	出前授業(田奈中学校)	3年生を対象に、主権者教育アドバイザーを講師に招き、「政治とは何か」「社会や政治と自分たちの身近な関わり」などをテーマにワークショップ形式で実施。	参加人数: 約80人
3月6日	明るい選挙ユースプロジェクト	緑区内の中学生による選挙や政治に関する意見交換や若年層の投票率などをテーマとしたグループディスカッションを実施。	参加人数: 13人
3月30日	鴨居桜まつり	鴨居桜まつりに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもとシールアンケートおよび選挙器材の展示を実施。	参加人数: 790人
通年	イコット通信の発行	明推協推進委員、推進員を対象とした機関紙を発行し、各事業の告知や報告を実施。	発行回数: 3回
通年	選挙器材の貸出し	区内の学校を対象に、投票箱や記載台等の選挙器材の貸出し。	貸出し枚数: 7枚
通年	啓発物品の作製	啓発物品として、選挙啓発キャラクターを印刷したマイクロファイバーハンカチ、トートバッグを作製。	

▼ ミドリマルシェでの様子



▲ 鴨居桜まつりでの様子



▲ 明るい選挙ユースプロジェクトの様子

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発物品の作製	啓発物品(絆創膏)を作製し、区民利用施設等に配布。	作成数:2,000個

# 令和6年度の事業、令和7年参院選・市長選での啓発事業

## 青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目指し、「若年層啓発」を中心とした活動を行っています。

具体的な取り組みとして、小学6年生を対象とした「出前授業」、中学生を対象とした「青葉区明るい選挙推進作文コンクール」のほか、高校文化祭にてブース出展を行いました。

令和7年7月執行第27回参議院議員通常選挙、8月執行横浜市長選挙の啓発活動としては、区内7駅への広告掲出、東急田園都市線青葉台駅でのポケットティッシュ配布や、タウンニュースへの広告掲載等を行いました。

今後も推進委員・推進員の皆様と協力し、投票参加につながる啓発活動に取り組んでまいります。



▲ 出前授業投票用紙交付



▲ 県立市ケ尾高校文化祭



▲ 作文コンクール表彰式

### ● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年4月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	令和5年度事業実績・決算報告及び令和6年度事業計画・予算審議等を実施。	参加人数：11名 (推進委員・青選管事務局)
令和6年12月	推進委員・推進員研修会	主権者教育アドバイザーをお招きし、「社会の変化に応じた選挙啓発を主権者教育の視点から考える」というテーマでの講義及び、「新たな選挙啓発活動案を考える」をテーマにグループワークを実施。 講師：総務省主権者教育アドバイザー市島宗典教授	<参加人数> 25名 (推進委員・推進員)
令和6年7月、令和7年2月	企画・運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員希望者で構成されたチームが主体となり、常時啓発について意見交換を実施。 また、第一回目にはジョブシャドウイングの一環で、桐蔭学園高等学校の生徒も会議に参加。	<参加人数> (1) 14名 (推進委員・推進員・青選管事務局・市選管事務局・桐蔭学園高校生) (2) 8名 (推進委員・推進員・青選管事務局)
令和6年7月～9月	青葉区明るい選挙推進作文コンクール2024	選挙や政治・社会について関心を持ってもらうことを目的として、区内の中学校に通学する中学生を対象とした作文コンクールを実施。テーマは、青葉区制30周年の取り組みとして「未来の青葉区のために私たちができること」と設定。 計272作品より10作品が入賞。	参加人数：272名 (区内中学校在学学生)
令和6年9月	市ケ尾高校文化祭	青葉区明るい選挙推進協議会としてブースを出展。模擬投票の実施と、投票用紙計数機を使ったミニゲームを実施。結果に応じて、啓発物品を配布。翌日は模擬投票の結果を掲示。	参加人数：21名 (推進員・青選管事務局)
令和6年10月	第50回衆議院議員総選挙啓発	青葉区版のタウンニュースに区が作成した記事を掲載。	掲載日：10月17日号
令和6年11月	青葉区民まつり2024	啓発チラシをPRボックスに配架、自治会掲示板に掲示。 青葉区民まつりに明推協のブースを出展し、ウェットティッシュの配布や、ポスターを掲示。	掲載日：7月19日(土)～8月1日(金)
通年	出前授業	将来の有権者である小学6年生を対象に、選挙への関心や知識の向上を目的として、出前授業と模擬投票を7校で実施。 出前授業の講師は、青葉区選管職員が担当。	実績：7校(8回) 参加人数：延べ643名

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	イコト通信の発行	模擬投票では、選挙啓発マスコットをデザインしたオリジナルの投票証明書を参加者全員に配付。 選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、推進委員及び推進員への送付や、青葉区明るい選挙推進協議会のホームページへの掲載を実施。	発行回数：年3回 (令和6年8月、12月、令和7年3月)
通年	投票器材の貸出し	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙等で、区内の中学校・高校に投票箱や記載台等の貸出しを実施。	貸出実績：13件 中学校11件 高等学校1件 特別支援学校1件
通年	啓発物品の作製	常時啓発の物品として、オリジナルフリクションボールペンを作製。	出前授業で配付

### ● 参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコト」	駅構内でプラカードを掲げ、啓発物品(ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、期日前投票所案内チラシ)を配布しながら、投票日・期日前投票等の周知、投票参加の呼びかけを実施。 場 所：東急田園都市線青葉台駅	<参加人数> 7月6日(日)：10名 (推進委員・推進員・イコト Jr.・青選管事務局)
広報よこはま青葉区版掲載	青葉区版の広報よこはままで選挙期日・期日前投票所の場所・日時の案内を掲載。	掲載日：7月号
タウンニュース青葉区版広告掲載	青葉区版のタウンニュースに区が作成した記事を掲載。	掲載日：7月3日号、7月10日号
東急田園都市線駅貼りポスターの掲出	東急田園都市線、区内7駅にて駅貼りポスターを掲出。選挙期日や期日前投票所の日時・場所の案内を掲載。 場所：たまプラーザ駅、あざみ野駅、江田駅、市が尾駅、藤が丘駅、青葉台駅、田奈駅	期間：7月19日(土)～8月1日(金)
啓発物品の作製	冷感ウェットティッシュを作製。ザ・イコト、窓口等で広く配布。	

## 都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して各種啓発事業を行っています。

都筑区明るい選挙推進協議会の特徴は、区内15の地区に「地区協議会」を設けている点で、代表の推進委員を中心に、各地区で企画した活動を実施してもらうことで、地域に密着した啓発を実現しています。

令和6年度は、都筑区明るい選挙推進大会において、横浜市会の議事堂見学会を実施しました。その他、各地域での小学校出前授業など、若年層への啓発活動にも積極的に取り組みました。

引き続き推進委員・推進員のみなさまのご協力のもと、様々な活動に取り組んでまいります。

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年4月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度実施事業の振り返り及び決算報告、令和6年度事業計画について協議、決定。	参加人数：17人
6月	都筑区明るい選挙推進大会	議会局職員の案内により、市会図書室、傍聴席、本会議場等、横浜市会の見学会を実施。	参加人数：28人
8月	明推協 PR 事業	都筑公会堂にて開催された「星空のコンサート」に協賛し、来場者へ明推協のPR活動を実施。	
11月	都筑区民まつりでの啓発	選挙に関するクイズを出題するブースを出展し、来場者に向けた啓発を実施。	
令和7年3月	「めいすい通信」の発行	明推協の活動を周知する広報紙を作成し、区内自治会に対し回覧。	
通年	「明推協だより」の発行	推進委員・推進員を対象として、明推協事業の紹介や活動報告等を記載した機関紙を発行。 発行回数：年1回（令和6年7月）	
	出前授業	都筑区内の小学6年生を対象として、選挙に関する講義や身近なテーマに絡めた模擬投票を実施。	参加校数：4校 参加児童数：計477人
	地区協議会事業	地域の夏祭りでの啓発など、地区協議会ごとに企画した活動を実施。ウェットティッシュ等の啓発物品を各地区に配付し啓発に活用。	
	選挙器材貸出し事業	都筑区内の小、中及び高等学校に向けて選挙器材の貸出しを実施。	貸出校数：8校 (中学校7校、高等学校1校)

▼ 出前授業



▲ 選挙時啓発物品



▲ 都筑区明るい選挙推進大会

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発物品の作製・配布事業	ノースポート・モール主催のイベントにおいて、啓発うちわの配布及び施設内のラックでの配架。	
地域メディアへの掲載	7月24日（木）タウンニュース都筑区版への記事掲載及びWeb版での広告掲載。	

## 戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、3部会に分かれて各種啓発活動を行っています。

戸塚ふれあい区民まつりではキャラクター模擬投票を実施し、家族連れを中心に多くの方にご参加いただきました。また、推進委員・推進員を対象に、より選挙に対する知識を深める研修会を実施しました。さらに、区内大学の学園祭へ選挙ブースを出展し、特に投票率の低い20代をターゲットにした啓発を行いました。

そのほか、区内の学校へ生徒会選挙等のための投票器材の貸出し、出前授業を行うなど若年層への啓発にも取り組んでいます。



▲ 戸塚ふれあい区民まつり



▲ 明治学院大学戸塚まつり



▲ 明推協推進員等研修会

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年4月	戸塚区明るい選挙推進協議会総会	全推進委員・推進員を対象とした総会。令和5年度の事業実績と収支決算報告及び令和6年度の事業計画と収支予算について審議、決定。	
令和6年5月	明治学院大学戸塚まつり(第2事業部会)	選挙意識に関するシール投票や若い世代に活用いただきたい選挙制度の紹介を行う選挙啓発ブースの出店。啓発物品の配布。	来場人数：329人
令和6年11月	戸塚ふれあい区民まつり(第1事業部会)	模擬投票や啓発物品の配布を行う選挙啓発ブースの出展。	来場人数：1,113人
令和7年1月	明推協推進員等研修会(第3事業部会)	推進委員・推進員を主な対象とした講演およびワーク形式の集合研修を実施。テーマ：データと事例から考える投票率UP 講師：西野偉彦氏(株式会社第一生命経済研究所)	参加人数：40人
通年	『未来の有権者』育成事業	区内小学校・中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうために、投票箱や記載台等の機材を貸出し。 中学校：8校 高等学校：1校	
通年	出前授業	選挙に関する出前授業を実施。 小学校：小雀小学校、ほか4校 高等学校：戸塚高校	小学生：計370人 高校生：43人

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	中学生職場体験	実際の投票器材を使用し投票事務、開票事務の職業体験を実施。 令和7年1月：大正中学校	中学2年生3人
通年	明推協通信	推進委員・推進員向けの明推協の機関紙を年3回(7月・12月・3月)発行。	

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容
街頭啓発「ザ・イコット」	JR・市営地下鉄戸塚駅・JR東戸塚駅にて、通行人にポケットティッシュを配布しながら、投票参加の呼びかけを実施。
広報よこはま戸塚区版、区X、区ホームページによる啓発	投票日、当日投票時間のほか、期日前投票と不在者投票、期日前投票所の広報を実施。
タウンニュースへの掲載	投票日当日の投票時間、持ち物のほか、戸塚区・泉区それぞれの期日前投票所について啓発を実施。
エフエム戸塚による啓発	区選挙管理委員会がラジオ番組に出演し、投票を呼びかけ。
横断幕・懸垂幕の掲出	戸塚駅周辺3か所、西武東戸塚S.C.に、投票を呼びかける横断幕及び懸垂幕を掲出。
期日前投票所混雑可視化システムの試験導入	期日前投票所の混雑状態がリアルタイムで分かるシステムを、HPにて公開。

## 栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

栄区民まつり及び神奈川県立柏陽高等学校文化祭では、選挙啓発ブースを出展し、投票体験の実施や選挙啓発パネルの展示等を実施しました。

年間を通じて、区内の学校へ投票器材の貸出しや、出前授業を行うなど若年層への啓発にも取り組んでいます。

令和7年8月に執行された市長選挙では推進委員・推進員の皆様にご協力いただき、街頭啓発を行ったほか、投票率向上を目的とした懸垂幕を作成し、本郷台駅前広場コミュニティポールに掲出しました。

▼ 施設見学研修会



▲ 柏陽高校文化祭

### ● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年	出前授業	区内小・中学校を対象に選挙出前講座を実施。	
5月		横浜市立本郷小学校	参加人数：86人
7月		横浜市立本郷中学校	参加人数：145人
2月		横浜市立桂台小学校	参加人数：53人
3月	若年層及び小学生向けのリーフレット作成	区内の年齢別投票率や投票の流れ、様々な選挙制度について紹介するリーフレットを作成。	
9月	施設見学研修会	横浜地方裁判所にて施設見学会を実施	参加人数：16人
9月	柏陽高校文化祭ブース出展	投票体験及び計数機を用いた投票用紙の100枚あてゲームの実施、選挙啓発パネルの展示。	来場者数：730人
11月	栄区民まつりブース出展	投票体験の実施及び選挙啓発パネルの展示。	参加人数：692人
通年	啓発物品作製・配布	選挙啓発用エコバック、選挙啓発用色鉛筆、選挙啓発用マスキングテープを作製・配布。	
通年	選挙器材貸出し	区内の学校で実施される生徒会選挙に際し、選挙器材の貸出しを実施。	貸出し実績：7件
通年	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。	頻度：3回



栄区民まつり▶

### ● 参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	啓発ポケットティッシュなどを配布し、投票参加を呼びかける街頭啓発を実施。 場所：JR本郷台駅前	参加人数：10人 実施日：7月29日
タウンニュース(港南区・栄区版)を利用したPR	広報よこはま(7月号)と併せて、タウンニュース区版に投票日・期日前投票期間などを掲載。	
神奈中バス車内デジタルサイネージによるPR	バス運転席背面の液晶モニターに選挙啓発画面を放映。	掲載期間：7月21日～8月3日
JR本郷台駅前広場コミュニティポールへの懸垂幕掲出によるPR	懸垂幕を作製し、本郷台駅前のコミュニティポールに掲出。	掲載期間：7月21日～8月3日

## 泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、幅広い世代に選挙への関心を高めてもらえるよう、啓発活動に取り組んでいます。

令和6年度は、主権者教育アドバイザーによる研修、「明るい選挙映画会」における啓発動画の上映と投票体験、区内小学校での出前授業など、多様な事業を展開しました。

また、令和7年参議院選挙・横浜市長選挙では、広報誌への記事掲載や横断幕による期日前投票所のPR、立場駅・緑園都市駅での街頭啓発を実施し、投票参加を呼びかけました。

今後も、推進委員・推進員の皆様と連携して効果的な啓発活動に取り組んでまいります。



▲「あと3年」クイズ表紙



▲「明るい選挙推進研修」での講義



▲相鉄線緑園都市駅での街頭啓発

### ●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年4月	定例委員会	令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、令和5年度会計監査報告、令和6年度事業計画案・予算案の審議・決定。 場所：泉区役所	参加人数：12人
6月	小学生向け啓発リーフレット「せんぎょフォーラム」の発行	区内小学校の6年生を対象とした、投票の仕方等を学べる啓発リーフレットの作製・配付。	実施校：15校
7月	明るい選挙推進研修	「令和において求められる明推協の役割 一 数々の調査データから見えてくるもの」をテーマに、主権者教育アドバイザー（白鷗大学法学部教授）による講義を実施。 場所：泉区役所	参加人数：24人
8月	「あと3年」クイズの発行	区内中学校及び戸塚区汲沢中学校の3年生を対象とした、市選挙管理委員会作製の社会科副教材「あと3年」を基にしたクイズの作製・配付。	実施校：9校
11月	泉区民ふれあいまつりへのブース出店	投票器材・啓発パネルの展示及び啓発物品の配布。 場所：和泉遊水地	
12月	明るい選挙映画会	選挙啓発動画及び映画「バウ・パトロール ザ・マイタイムムービー」の上映、キャラクター人気投票の実施。 場所：泉公会堂	参加人数：206人
12月～令和7年2月	出前授業の実施	区内小学校の6年生を対象とした、選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業の実施。	実施校：4校
2月	高校生向け啓発リーフレット「高校生のためのせんぎょブック」の発行	区内高校2年生を対象とした、投票の必要性等を学べる啓発リーフレットの作製・配付。	実施校：4校
通年	選挙器材の貸出し	区内小中学校を対象とした、投票箱や記載台等の選挙器材の貸出し。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員を対象とした、イベントの案内やボランティアの募集等を掲載した機関紙の発行。	発行月：6月、令和7年1月、令和7年3月

### ●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	地下鉄立場駅・相鉄線緑園都市駅において啓発ブラカードを掲げ、啓発ポケットティッシュを配布しながら、投票参加の呼び掛けを実施。	実施日：7月14日 参加人数：19人
広報誌（タウンニュース戸塚区・泉区版）による啓発（2区合同）	戸塚区と合同でタウンニュース戸塚区・泉区版に、横浜市長選挙の投票日及び期日前投票の案内記事を掲載。	実施日：7月24日
横断幕による期日前投票所のPR	地下鉄立場駅前のバスターミナル付近に臨時期日前投票所の案内用横断幕を設置。	実施期間：7月11日～8月3日
区内公共施設及び高校にて啓発物品の配布	区内の公共施設（地区センターや図書館など）、高校にて啓発ポスターを掲出し、併せて啓発ポケットティッシュを配布。	実施期間：7月8日～8月3日
区役所入口設置デジタルサイネージ及び戸籍課設置TVによる啓発	区役所入口にあるデジタルサイネージ及び戸籍課に設置しているTVへ期日前投票の案内画像データを放映。	実施期間：7月4日～8月1日
区役所内における啓発	区役所内窓口に投票日PRぬいぐるみ（イコット Jr）及び啓発ポケットティッシュを配布。	実施期間：7月7日～8月1日
泉区公式 X（旧 Twitter）によるPR	泉区公式 X アカウントを利用し投票案内を配信。	実施日：7月21日

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、若年層啓発に力を入れて取り組んでいます。令和6年度は、「こども映画会」や「出前授業」を通じて選挙啓発に取り組みました。

「こども映画会」では、児童及び同伴の大人を対象に選挙器材を使用した模擬投票や選挙啓発DVD及び映画の上映を行いました。

出前授業では、小学6年生を対象に、授業と模擬選挙を実施し、児童の皆さんに候補者役から投票作業まで体験してもらいました。

また、推進員の身近な政治や選挙に対する関心・意識の向上を図るため、若年層啓発をテーマに学生を交えた意見交換会を実施しました。



▲ ザ・イコット



▲ 出前授業



▲ 意見交換会

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和6年5月	瀬谷区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議。 会場：瀬谷区役所	参加人数：25名
8月	こども映画会	児童及び同伴の大人を対象に、模擬投票の実施や選挙DVD及び映画の上映。 会場：瀬谷公会堂	参加人数：201名
9月	瀬谷区明るい選挙推進員研修会	推進員の身近な政治や選挙に対する関心・意識の向上を図るため、若年層啓発をテーマに学生を交えた意見交換会を実施。	参加人数：15名
10月	瀬谷フェスティバル	選挙制度や投票のしかた、衆院選の啓発に関する展示を実施。 会場：旧瀬谷西高校グラウンド	
通年	地区代表者会議	啓発事業への応援依頼や活動の実施経過の報告。年3回(5・9・3月)実施。 会場：瀬谷区役所	参加人数：29名
	イコット通信	推進委員・推進員に向けた活動紹介・報告。年3回(6・12・3月)発行。	
	出前授業	小学6年生を対象に選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習の実施。 実施校：相沢小学校(8月)	参加人数：45名 (相沢小学校)

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	区内各学校への選挙器材等の貸出し	児童の選挙への関心を深めるため、生徒会選挙用、授業教材として実際の選挙に使用する投票器材や選挙運動用具の貸出し。	
	啓発物品の製作	ハンディライト及びミニタオルを製作。こども映画会、出前授業、瀬谷フェスティバルで配布。	

●参院選・市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ザ・イコット	区内12地区で約20,000個のポケットティッシュの街頭配布およびポスティングを実施。	85名
タウンニュース(瀬谷区版)への掲載	期日前投票を周知する記事を紙面及びWEBに掲載。	約23,000部を折込配布・施設配架
駅横断幕の製作・掲出	期日前投票周知の横断幕を製作・掲出。	掲出場所：相鉄線瀬谷駅南北自由通路
区内歩道橋への横断幕掲出	投票促進を目的に、区内歩道橋に横断幕を掲出。	掲出場所：下瀬谷歩道橋、東歩道橋

# 横浜市 令和6年度の取組み①

## ●横浜市明るい選挙推進協議会の取組み

事業名	内容	備考
研修等事業	<p>市・区明るい選挙推進大会の開催を通じて、市・区明推協の推進委員・推進員（以下推進委員等）の意識高揚を図りました。</p> <p>1 市・区明るい選挙推進大会            開催日：令和6年10月31日（木）            会場：新都市ホール            記念講演：「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」            講師：フリーアナウンサー 宮本 隆治 氏</p> <p>2 市・区明るい選挙推進協議会会長会議            各区明るい選挙推進協議会の情報共有及び意見交換を行いました。            日程：令和6年9月11日（水）            会場：市庁舎18階共用会議室 みなと6・7</p>	<p>1 市・区明るい選挙推進大会 参加者：約400人</p> <p>2 市・区明るい選挙推進協議会会長会議 参加者：市・区明推協会長及び区統計選挙係長等 38名</p>
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	<p>将来の有権者である子どもたちの意識を高めるため、各区が実施する出前授業を支援したほか、生徒会役員選挙支援等の物品を作製しました。</p> <p>また、横浜市若者選挙啓発団体「イコットプロジェクト」及び「イコット Jr. プロジェクト」の啓発活動を支援しました。</p>	<p>1 生徒会役員選挙支援物品の作製 選挙管理委員会腕章104枚 候補者用たすき77枚 白バラ胸章20枚</p>
(公財) 明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(公財) 明るい選挙推進協議会が主催する研修会や各種フォーラムに参加し、他都市の先進事例等の情報を収集するとともに、連携を深めました。	
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協推進委員・推進員を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、各区へ配布しました。	発行数 2,900冊
白バラよこはま (No.54) 発行	令和5年度に実施した市及び区の各種啓発事業紹介や推進員の心得等を掲載した機関紙を作成し、推進大会等で関係者に配布しました。	発行数 1,900部



▲市・区明るい選挙推進協議会会長会議



▲白バラよこはま NO.54



▲横浜市・区明るい選挙推進大会



▲明るい選挙推進のためのハンドブック

# 横浜市 令和6年度の取組み②

## ●横浜市選挙管理委員会 常時啓発の取組み

事業名	内容	備考
若年層啓発事業	若者の間で普及しているSNSを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行いました。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しました。	SNS：随時発信
二十歳の市民を祝うつどい	二十歳の市民を祝うつどい会場内外で啓発動画を放映し、二十歳の市民に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	日程：令和7年1月13日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 来場者：約22,000人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配布しました。 また、若年層に社会や政治に対する当事者意識を持ってもらうことを目的に、委託事業として「高校生・専門学校生が主体となった出前授業用の動画制作」を行いました。制作の過程では、学生たちが選挙や政治に関する率直な意見を出し合い、それをもとにシナリオを作成。さらに、撮影においても学生たちが演者、撮影、演出補助の役割を担い、制作過程そのものが主権者教育の実践の場となりました。	あと3年 配送：令和6年8月 対象：市内中学3年生 約31,000人
幅広い世代へ向けた啓発事業	横浜市庁舎アトリウムにて開催された「わくわく！こども夏まつり」において、選挙啓発ブースを出展しました。ブースでは、キャラクター模擬投票や、計数機を使用した「投票用紙 de ビッタリチャレンジ」など、子育て世代を中心とした来場者が楽しみながら選挙を学べる企画を実施。実際の選挙器材（記載台・計数機）を活用することで、選挙をより身近に感じてもらう取り組みとなりました。	日程： 令和6年8月10日(土)・11日(日)  ブース来場者： 1,450人(2日間合計)
選挙制度等の広報	市ホームページ等を活用し、選挙制度の周知を進める等、積極的な広報を実施しました。	実施：通年
出前授業	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前授業を実施しました。	実施：通年 会場：各区学校等
投票にイコット！キャンペーン	「2025年夏は『参院選挙と横浜市長選挙』～投票にイコット！キャンペーン～」をタイトルに、市と区が連携して集中的な啓発活動を実施しました。幅広い世代の有権者に投票参加を呼びかけるため、啓発物品として作製したウェットティッシュを各区のこども家庭支援課に配架したほか、区役所や市庁舎のデジタルサイネージを活用し、キャンペーンバナーを掲出しました。	1 各区イベント等で活用する啓発物品の作製 2 市営地下鉄(10駅)への駅貼りポスター掲出 3 デジタルサイネージ(みなとみらい駅・市庁舎・区役所)掲出
明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援及び区明るい選挙推進研修会等の開催を支援しました。	
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクト・イコットJr.プロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しました。	



▲ 二十歳の市民を祝うつどいでの場内放映



▲ 出前授業用の動画制作 制作過程の様子



▲ 投票にイコット！キャンペーン バナー



▲ わくわく！こども夏まつりイベントの様子

# 選挙や政治に関する書籍のご紹介

投票率向上を目的として、選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会が連携し、毎秋に「投票にイコット！キャンペーン」を実施しています。

令和7年度は、「2025年は普通選挙100年・女性参政権80年・18歳選挙権10年」という歴史的な節目をテーマに掲げ、選挙権の歩みを振り返るとともに、投票の重要性を改めて考える機会を提供しました。

キャンペーンでは、区民まつりなど各区のイベントにおいて啓発ブースを設け、ウエットティッシュの配布を行ったほか、新たな試みとして中央図書館に関連書籍の特別コーナーを設置し、選挙や民主主義に関する理解を深めるための資料を展示しました。ここではその一部をご紹介します！

今年度推進員となられた方や、さらに推進員活動への理解を深めたい方にぴったりの書籍たちです。ぜひ今後の活動にお役立てください。



## 1 選挙、誰に入れる？ ちょっとでも良い未来を「選ぶ」ために知っておきたいこと

宇野重規 / 監修

### おすすめポイント

一定の年齢になったすべての国民が参加できる「普通選挙」が始まったのは、ほんの百年前のこと。それまではどんな選挙だったの？、そもそも選挙って何のため？、という疑問に、イラストと図解で答える本です。

## 2 選挙との対話

飯田健 / [ほか] 著、荻上チキ / 編著

### おすすめポイント

なぜ女性政治家は少ないのか？ 私たちはどうやって投票先を決めている？ マイナスのイメージさえ感じる政治の世界。私たちが選挙で政治とどう関わればいいのか、そのヒントがちりばめられています。

## 3 市川房枝、そこから続く「長い列」

野村浩子 / 著

### おすすめポイント

女性の参政権獲得に大きな影響を及ぼした市川房枝。逆風の強い時代に、女性の地位向上のために奔走した彼女は、一体どのような人物だったのでしょうか。彼女の人生を知ることができる一冊です。

## 4 あきらめません！

垣谷美雨 / 著

### おすすめポイント

退職後、霧島郁子が移住したのは地方の小さな市。市民の要望を聞かない上に、セクハラまで横行する市議会のやり方に怒った彼女は、議員に立候補することに。政治や選挙の仕組みが分かり、最後にスカッとする小説です。

## 5 女性政治家が増えたら何が変わるのか

秋山訓子 / 著

### おすすめポイント

女性議員が過半数を占める千葉県白井市議会では、公園へのインクルーシブ遊具の設置など、生活に密着した政策を実現しています。「生活者」としての経験を政治に生かす、そんな女性たちが社会に変化をもたらしています。

## 6 北欧の幸せな社会の作り方

あぶみあさき / 著

### おすすめポイント

コーヒーを飲みながら政策についておしゃべり、市長とチェス、小学生は引率なしに政党の選挙スタンドを回って自分の言葉で質問…これらは選挙期間中のノルウェーの風景。同じ18歳から選挙権がある日本との違いに驚くはず！

令和7年7月20日執行

令和7年8月3日執行

# 参議院議員通常選挙・横浜市長選挙啓発事業実績

参議院選挙と横浜市長選挙が近接して執行されることを好機と捉え、両選挙の啓発キャラクターとして若者に人気のあるバーチャルライバーを起用し、統一的な広報を展開しました。

ポスターや横断幕の掲出、CM 動画の放映、公用車や一人乗り電気自動車による呼びかけのほか、投票証明書のデザインも刷新しました。キャラクターをあしらった投票証明書は、参議院選挙と横浜市長選挙の2枚をつなげることで1つの絵になる仕掛けとなっております。両選挙への投票を促す工夫を施しました。

さらに、各区での街頭啓発に加え、地域紙を活用した期日前投票所の周知、若者選挙啓発団体と横浜 SUP 倶楽部との連携による水上からのPRなど、地域の実情に応じた多様な取り組みを行いました。



▲ 投票証明書



▲ 参議院選挙・横浜市長選挙ポスター



▲ 横浜市長選挙ポスター

## 令和7年7月20日執行 参議院議員通常選挙 啓発事業実績

実施項目	数量	内容	予定期間	
看板・横断幕・懸垂幕	18枚	区庁舎に看板・横断幕・懸垂幕を掲出	7月3日から7月20日	
ポスター	約25,000枚	自治会町内会掲示板、市・区庁舎等公共施設、郵便局、市営地下鉄、大学・高校等にポスターを掲出	7月3日から7月20日	
公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,693箇所	公営ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	6月24日から7月20日	
市庁舎デジタルサイネージ	随時	市庁舎アトリウム及び低層階にて静止画を放映	7月3日から7月20日	
区役所内デジタルサイネージ	随時	各区役所のデジタルサイネージや、各区戸籍課窓口電光掲示板・区民フロア等に設置している画面にて静止画を放映	7月3日から7月20日	
ごみ収集車	約700台	巡回中に、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	7月3日から7月20日	
公用車	約100台	公用車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	7月3日から7月20日	
広報よこはま市・区版	約160万部	広報よこはまの市版・区版の紙面を活用し、投票日・期日前投票所等を周知	7月号	
「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約190万部	投票の方法や期日前投票所、不在者投票制度等を記載したチラシを「投票のご案内」に同封し、各世帯に発送	7月上旬	
市広報番組	2回	広報・プロモーション戦略課所管のテレビ番組で選挙期日等を周知(ハマナビ)	7月12日、7月19日	
文字放送	2回	広報・プロモーション戦略課所管のラジオ番組で選挙期日等を周知(ヨコハマ・マイチョイス)	7月13日、7月20日	
放送等	17日間	tvk データ放送(横浜市情報)で選挙期日等を周知	7月4日から7月20日	
大学のホームページへのPRバナー掲載	市内協力大学	大学が管理するホームページにバナー広告を掲載	7月3日から7月20日	
高校生等の投票事務従事	市内高校生等	選挙への関心を高めていくきっかけの一つとして、市内高校生等が投票所事務に従事	随時	
出前授業・模擬選挙	市内高校生等	市内の高校等において、選挙公報等を活用した出前授業・模擬選挙を実施	随時	
選挙案内ページの作成	随時	投票日や投票所の場所等選挙に関する情報を集約した特設ホームページを作成	7月3日から7月20日	
SmartNews	随時	横浜市公式チャンネルでの周知	7月3日から7月20日	
WEB 広告	随時	啓発キャラクターを活用したバナー等を掲載	7月3日から7月20日	
LINE による情報提供	随時	横浜市公式アカウントの登録者約90万人(令和7年8月時点)に対し、投票参加の呼びかけを配信	7月3日から7月20日	
Xによる情報提供	随時	市選挙管理委員会アカウントから選挙関連情報を配信	7月3日から7月20日	
街頭啓発「ザ・イコット」	18区	市内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発を実施	随時	
ポケットティッシュ	16万個	各区街頭啓発や啓発イベントでの投票参加の呼びかけに使用	7月3日から7月20日	
ブラカード	約50本			
投票証明書	約100万枚	投票済の希望者へ配布	7月4日から7月20日	
既製の活用	卓上マスコット	約230個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置	随時
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体	
	イコットバンテング人形	22体	市及び各区に1~2体	



▲ デジタルサイネージ (横浜ランドマークタワー)



▲ 横断幕・懸垂幕 (桜木町駅)



▲ 駅貼りポスター (馬車道駅)



▲ マリントワー展望デッキ



◀ 横浜 SUP 倶楽部と連携した啓発



▲ 電気自動車 (デコレンタ)

●令和7年8月3日執行 横浜市長選挙 啓発事業実績

実施項目	内訳・概要	内 容	期 間	
看板・幕・ポスター類	横断幕・看板等	約 300 枚	市内各所（市営地下鉄、区庁舎、行政庁舎関係、地区センター、スポーツセンター、歩道橋、商店街、市内高校・特別支援学校、大学等）に横断幕等を掲出	7月21日から8月3日
	街頭フラッグ	約 90 枚	みなとみらい動く歩道、みなとみらい周辺（桜木町駅前広場、さくら通り、汽車道）にバナーフラッグ広告を掲出	7月21日から8月3日
	ポスター	約 3 万枚	自治会・町内会掲示板、保育園・幼稚園等、高校、大学、郵便局、公共機関等に A4 ポスターを掲出	7月3日から8月3日
	啓発三角柱	9 箇所	区庁舎の啓発三角柱にて投票日等を周知	7月21日から8月3日
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,693 箇所	公営ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	6月24日から8月3日
	横浜駅・自由通路広告	・ゲートウェイビラー ・ライトアップシート ・YOKOHAMA SEEDS board	利用者が市内最大の横浜駅に集中的に大型ポスターを掲出	7月21日から8月3日
	バス・鉄道車内ポスター	6 社	バス・鉄道車内（市営バス、相鉄バス、京急バス、臨港バス、東急バス、市営地下鉄グリーンライン）にポスターを掲出	7月21日から8月3日
駅貼りポスター	市内 15 路線各駅	市内の駅にポスターを掲出（JR 京浜東北根岸線・横浜線・東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・田園都市線・目黒線・新横浜線、みなとみらい線、相鉄線、京急線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、シーサイドライン）	7月21日から8月3日	
デジタル広告	駅等デジタルサイネージ	横浜駅、みなとみらい線ランドマークタワー	横浜駅（タワーアトリウム、東急東横線）、みなとみらい線各駅（新高島駅、馬車道駅、元町・中華街駅）ホームドアビジョン、みなとみらい駅大型ビジョンにて広告動画を放映	7月21日から8月3日
		市庁舎	ランドマークタワーのフロア内デジタルサイネージ 36 面にて広告動画を放映	7月21日から8月3日
		アトリウム等	アトリウム等のデジタルサイネージにて広告動画を放映	7月3日から8月3日
	鉄道車内動画広告	5 路線	車内ビジョンにて広告動画を放映（JR 横浜線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、京急線、相鉄線）	7月21日から8月3日
	鉄道車内 LCD	1 路線	ドア上の車内 LCD にて、投票日の案内を表示（市営地下鉄ブルーライン）	7月21日から8月3日
	バス車内動画広告	2 社	車内画面にて、広告動画を放映（市営バス、神奈川中央交通バス（横浜市内各営業所））	7月21日から8月3日
移動型広告	区役所内動画広告	各区役所	各区役所のデジタルサイネージや、各区戸籍課窓口電光掲示板・区民フロア等に設置している画面にて広告動画及び静止画を放映	7月3日から8月3日
	広報車（市内巡回）	3 台	啓発キャラクターがデザインされたラッピング電気自動車 3 台により市内 18 区を巡回	7月23日から8月3日
	車体側面シール	約 1,700 枚	ごみ収集車・公用車の両側面に啓発キャラクターがデザインされたマグネットシートを掲出	7月21日から8月3日
	ごみ収集車	約 700 台	巡回中に、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	7月3日から8月3日
印刷物等	公用車	約 50 台	公用車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	7月3日から8月3日
	広報よこはま市・区版	約 160 万部	広報よこはまの市版・区版の紙面を活用し、投票日・期日前投票所等を周知	7 月号
	投票のご案内同封啓発チラシ	約 180 万部	投票の方法や期日前投票所、不在者投票制度等を記載したチラシを同封し、各世帯に発送	7 月中旬
新聞・放送等	点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体の会員等	選挙公報を点訳、録音した「選挙のお知らせ」（浜視協号外）を作成、配布希望者全員へ配布、区役所・図書館等へ備え置き	期間中
	新聞広告	7 紙	新聞に 5 段 1/2 サイズの広告を掲載（読売、朝日、毎日、東京、産経、日経、神奈川の各新聞朝刊）	7 月 29 日
	市広報番組等	2 回	広報・プロモーション戦略課所管のテレビ番組で選挙期日等を周知（ハマナビ）	7月26日、8月2日
		2 回	広報・プロモーション戦略課所管のラジオ番組で選挙期日等を周知（ヨコハマ・マイチョイス）	7月27日、8月3日
	文字放送	14 日間	t v k データ放送（横浜市情報）で選挙期日等を周知	7月21日から8月3日
	テレビ CM 広告	60 本	テレビ（t v k）に 15 秒の広告動画を放送	7月21日から8月3日
		30 本	ラジオ（AM ニッポン放送）に 20 秒の広告動画を放送	7月21日から8月3日
	ラジオ CM 広告	30 本	ラジオ（FM ヨコハマ）に 20 秒の音声を送信	7月21日から8月3日
		45 本	ケーブルテレビ（J:COM）に 30 秒の広告動画を放送	7月21日から8月3日
	映画館広告	シネマコンプレックス	市内シネマコンプレックス 6 館で 30 秒の広告動画を放送（そのうち 2 館では、ポスター掲出とポケットティッシュの配布も実施）	7月21日から8月3日
アトリウム館内放送	随時	市庁舎アトリウムの館内放送で選挙期日等を周知	7月31日から8月3日	
若年層啓発	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出（再掲）	市内協力大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出	7月21日から8月3日
	大学のホームページへの PR バナー掲載		大学が管理するホームページにバナー広告を掲載	7月21日から8月3日
	高校生等の投票事務従事	市内高校生等	選挙への関心を高めていくきっかけの一つとして、市内高校生等が投票所事務に従事	随時
	出前授業		市内学校等での出前授業で選挙期日等を周知	随時
市会議事堂見学会		市内在住の高校生等を対象に議事堂見学会を実施	随時	
WEB・SNS	市長選特設ホームページの作成・運用	随時	啓発キャラクターを用いたデザインで、投票所の場所や選挙公報等選挙に関する情報を集約した特設ホームページを作成	7月7日から8月3日
	YouTube（横浜市ページ）による啓発動画の掲載	約 10 万回（再生回数）	啓発キャラクターを用いた広告動画を横浜市公式チャンネルに掲載	7月7日から8月3日
	LINE（横浜市公式アカウント）	随時	横浜市公式アカウントの登録者約 90 万人（令和 7 年 8 月時点）に対し、投票参加の呼びかけを配信	7月21日、8月3日
	X（旧 Twitter）	随時	市選挙管理委員会アカウントから選挙関連情報を毎日 1 回以上配信	7月21日から8月3日
	Google 広告	約 166 万回		7月3日から8月3日
	Yahoo! 広告	約 8,278 万回		7月3日から8月3日
	YouTube 広告	約 245 万回	啓発キャラクターを活用したバナーや動画等を掲載（内訳はすべてインプレッション数）	7月3日から8月3日
	Instagram、facebook	約 284 万回		7月3日から8月3日
	X 広告	約 251 万回		7月3日から8月3日
	その他 WEB 広告	約 1,082 万回		7月3日から8月3日
啓発行事	街頭啓発「ザ・イコット」	18 区・市選管	市内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発を実施	随時
	各区独自啓発事業	18 区	各区選管・明推協が主体となって、独自の啓発活動を実施	随時
	SUP（*）活動	随時	主に大岡川で活動する横浜 SUP 倶楽部による水上からの投票参加の呼びかけ（*）スタンドアップパドルボートの略称	7月25日から8月3日
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	142,000 個		
	ブラカード	約 50 本		
	のぼり旗	53 枚	各区街頭啓発や啓発イベントでの投票参加の呼びかけに使用	7月上旬から随時
	ステッカー	3 千枚		
	投票証明書	約 60 万枚	投票済の希望者へ配布	7月21日から8月3日
	既製の活用	卓上マスコット	約 230 個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ（着ぐるみ）	19 体	市及び各区に 1 体	随時
	イコットパンチング人形	22 体	市及び各区に 1～2 体	随時



町内会などの集会への飲食代や  
品物の差し入れ  
お祭りへの寄付や差し入れ

# 政治家の 寄付は禁止 有権者の 寄付要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、  
ここに紹介されたようなことをすると  
処罰されます。



地域の運動会や  
スポーツ大会への差し入れ



お中元やお歳暮など  
ちょっとしたおみやげ



秘書などが代理で出席する  
お葬式の香典や花輪



出産、入学、卒業、就職など  
の祝い金や品物



開店祝いなどの花輪や祝い金



## 推進委員・推進員さんの声

(明るい選挙推進大会アンケート等より)

こんなことに推進員の活動の  
やりがい・意義を感じています！

投票率が少しでも上がると、  
活動の成果かな？と嬉しくなります。

令和6年度の衆院選で、  
病院で不在者投票の立会人として従事し、  
よい経験となりました。

選挙は大切なこと。  
それに関わっていることに  
意義があると思います。



地域で  
こんな広報をしています！

投票所の立地の問題などで  
当日投票が難しいご近所さんに、  
期日前投票を勧めています。



毎月の「町内会たより」に  
普段の活動内容等を掲載しています。

地域の会合等において、  
投票参加の呼びかけや  
投票制度の広報を行っています。

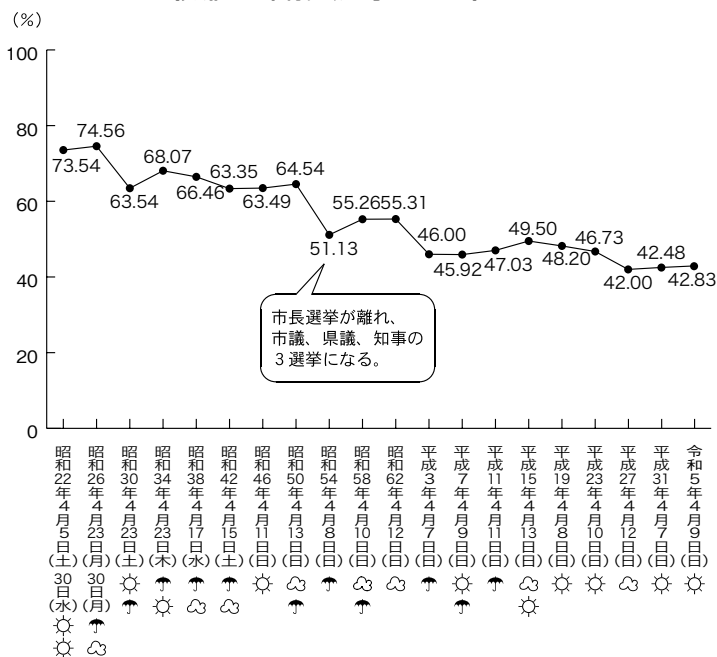


# 各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。  
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。  
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

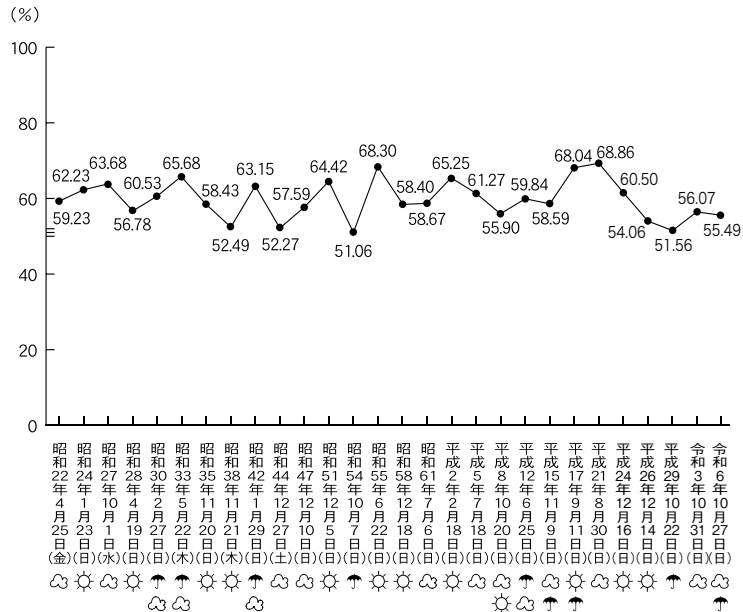
## 統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



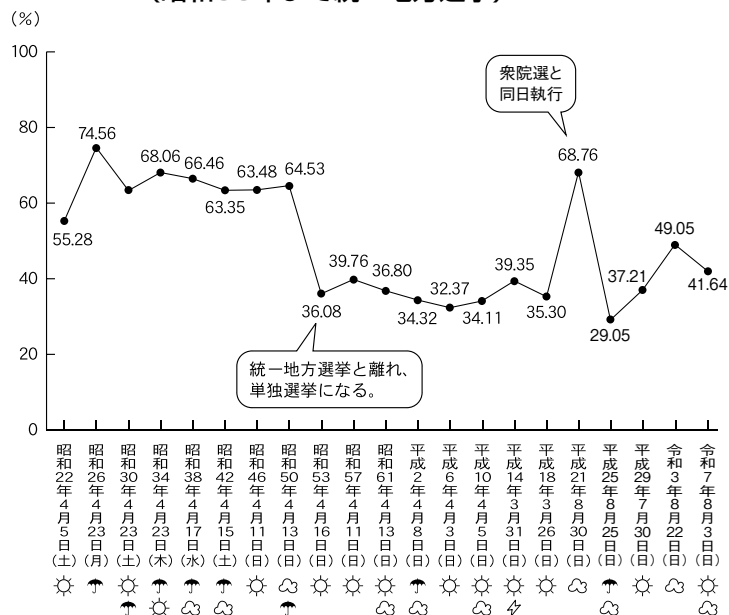
## 衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



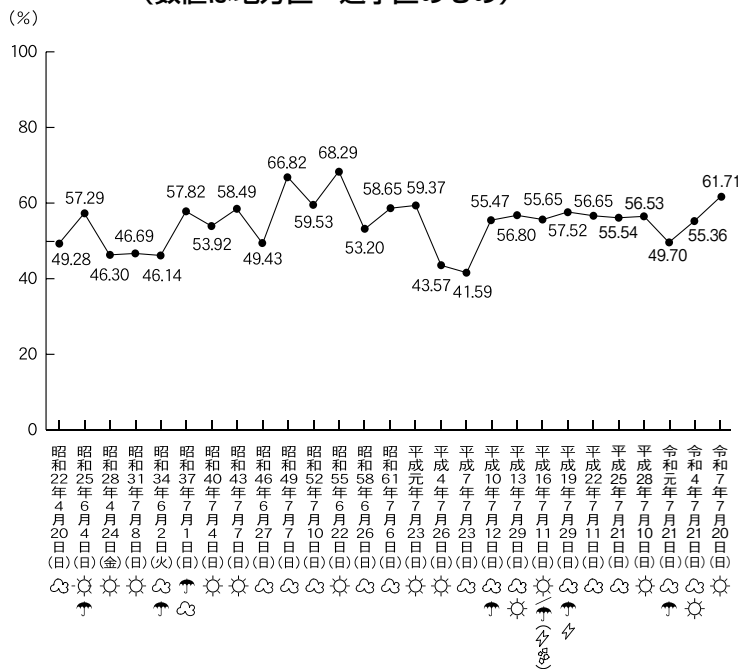
## 市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



## 参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



注) 第一回統一地方選挙

昭和22年4月5日 市長・県知事選挙  
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙  
4月30日 県議会・県知事選挙



←一部選挙の投票率について  
web上でもご覧いただけます。

【磯子区】出前授業の様子



【都筑区】都筑区民まつり



【港南区】若者会議での議論



【栄区】小学校出前授業



【保土ヶ谷区】選挙啓発クリエイティングカードデザイン



【西区】みなとみらい21さくらフェスタ2025



【旭区】高校生向け啓発イベント



【泉区】「明るい選挙映画会」での投票体験



【金沢区】金高祭



【瀬谷区】子ども映画会

